

新規サークル紹介

チームガンガゼ

私たちはチームガンガゼです。昨年度より地域貢献活動として商品開発などの活動を開始しました。今年度からはサークルとして、引き続き海を守る活動を行っています。よろしくお願いいたします。



平成28年度学生会役員紹介



- | | |
|--|--|
| 会長
健康栄養学科3年 日高 未来 さん | 体育部長
健康栄養学科2年 蔵ヶ崎 みずず さん |
| 副会長
健康栄養学科3年 柳木 香純 さん
こども学科3年 豊増 千陽 さん | 体育副部長
こども学科2年 郡山 香菜子 さん |
| 書記
こども学科3年 加治屋 里奈 さん
ことばと文化学科3年 前田 奈々美 さん | 文化部長
こども学科2年 濱田 葉月 さん |
| 会計
ことばと文化学科3年 武智 真琴 さん
健康栄養学科2年 山下 千晴 さん
ことばと文化学科2年 片野里 咲 さん
ことばと文化学科2年 長谷 くるみ さん | 文化副部長
看護学科2年 中島 知里 さん |
| | 会計監査
看護学科2年 松尾 有希子 さん
看護学科2年 後藤 野花 さん |

平成27年度就職状況

就職率が高い!!

就職率 98.7%

平成28年7月21日現在

国際人間学部

ことばと文化学科 100%

主な就職先
三井住友銀行、ANAスカイブルーサービス、中国東方航空、南日本ガス、コーアガス日本、昴、南日本銀行、プライムアシスタンス、鹿児島県立博物館(学芸指導員)、他

こども学科 100%

主な就職先
福岡市教育委員会(小学校)、京都市教育委員会(小学校)、小学校(期限付)、養護学校(期限付)、鹿児島県社会福祉事業団、鹿児島市社会事業協会、他

看護栄養学部

看護学科 100%

主な就職先
鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、大阪医科大学附属病院、聖路加国際病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京医科大学病院(助・看)、済生会熊本病院、宝塚病院、他

健康栄養学科 95.7%

主な就職先
国立病院機構九州グループ、鹿児島医療生協病院、おぐら病院、日清医療食品、栄食メディックス、シタックス、三井住友銀行、マイナビ、てまひま堂、鹿児島くみあいチキンフーズ、他

No. 28
2016

鹿児島純心女子大学・大学院 広報誌

発行：鹿児島純心女子大学・大学院広報委員会
〒895-0011
鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地
TEL 0996-23-5311
FAX 0996-23-5030
http://www.k-junshin.ac.jp/jundai/

入学式挙行

平成28年4月6日(水)、薩摩川内市長 岩切秀雄様、後援会会長 松延憲次様等、多数の来賓をお迎えして、鹿児島純心女子大学・大学院入学式を挙行しました。
今年度は大学院生7名、大学生165名、計172名が、新たにキャンパスライフをスタートさせました。



新入生交流会

5月13日(金)・14日(土)、「新入生交流会」を1泊2日の日程で実施しました。
この交流会は、「純心」のころを知る、「学生間の交流、学生・教職員の交流を深める」、「鹿児島・薩摩川内市を知る」という3つの目的のもとに実施しています。
今年度は新入生、留学生、在学生リーダー(2~4年生)、教職員の計189名が参加しました。



学生会主催 体育祭

4月30日(土)、本学体育館にて学生同士や学生・教職員間の交流を目的とした体育祭を開催しました。バレーボールやドッチボールなど4種目に渡り、各学科対抗の熱戦が繰り広げられました。



平成29年度入試情報

※詳細は「平成29年度学生募集要項」でご確認ください。

入試区分	登録期間	面談日	出願期間	試験日	合格発表
自己推薦第I期	9/5(月)~9/9(金)	9/17(土)	10/5(水)~10/13(木)	独自試験はありません	11/1(火)
自己推薦第II期	11/21(月)~12/2(金)	12/10(土)	12/19(月)~1/5(木)	独自試験はありません	1/17(火)
公募推薦			10/24(月)~11/4(金)	11/10(木)	11/14(月)
指定校推薦					
一般入学試験第I期				2/9(木)	
大学入試センター利用試験A日程 (国際人間学部・健康栄養学科のみ)			1/10(火)~1/27(金)	2/9(木) 健康栄養学科のみ面接	2/13(月)
大学入試センター利用試験B日程			2/10(金)~2/27(月)	3/3(金) 看護栄養学部のみ面接	3/6(月)
一般入学試験第II期(国際人間学部のみ)			2/24(金)~3/9(木)	3/17(金)	
大学入試センター利用試験C日程 (国際人間学部・健康栄養学科のみ)			2/24(金)~3/9(木)	3/17(金) 健康栄養学科のみ面接	3/21(火)

平成28年度 入学式式辞



新入生、編入生、そして台湾からの交換留学生の皆さん、ご入学まことにおめでとうございます。この日を迎えられた保護者の皆様方にも心からお喜びを申し上げます。夢と希望にあふれた若々しい皆さんをお迎えできたことは、本学にとり大きな力と喜びでございます。本学の教育目標に「地球市民として社会に貢献できる広い視野を持った女性の育成」が挙げられているように、私たちは世界の人々とともに手を携え、世界の平和を築いていくために地球市民として、共生の道を歩むという意識を持つことが大切なのではないでしょうか。勉学に取り組むときの意識づけ、特に何のために学ぶのかを問いながら自分の進む方向を定めていくように努めましょう。多くの出会いや活動を通して、視野を広げ、自分と周りの人々を豊かにする道を本学で探してください。これからの4年間また2年間は、自分の可能性にチャレンジする貴重な機会です。皆さんが本学で「学びと成長の体験」を通し、自信を持って社会に入っていくことができるように、私たち教職員一同惜しみない支援をお約束します。一日一日を大切に、周りの人々に感謝の心を持って学生生活を過ごしてまいりましょう。鹿児島純心女子大学学生として新しい門出を始められた皆さんとご家族の上に神様の豊かな祝福を祈って式辞いたします。

平成28年4月6日

鹿児島純心女子大学・大学院 学長 松下栄子

【問い合わせ先】鹿児島純心女子大学 入試広報課

TEL/0996-23-5311 FAX/0996-23-5030 Email/exa@jundai.k-junshin.ac.jp

TOEIC対策

ことばと文化学科ではTOEICの対策にも力を入れ、それに特化した授業「TOEIC対策I~IV」を開講しています。最近では、700点、800点越えだけではなく、900点をクリアした学生も続々と出てきています。ⅢとⅣでは600点以上の学生を対象に、更に高いスコアを取れるように指導しています。



留学中の学生に聞く

ことばと文化学科3年
菊水 紗也子さん (文藻外語大学)



Q1 台湾への留学はいつごろ決めたか？

2年生の前期に留学生の話聞くうちに興味を持ちました。英語コミュニケーションコースで留学できました。

Q2 留学が決まってから準備したことは？

台湾からの留学生に現地のことを聞き、とにかく情報収集をしました。また、たくさんコミュニケーションをとり、中国語の基礎を学びました。

Q3 日本でやっていて向こうで役立ったことは？

中国語の自己紹介は役に立ちました。また、英語が共通語になっていたので、純大で学んだ英語が生きました。

Q4 台湾に行ったら良かったことは？

日常のすべてが学びの時間であり、喜びになっています。また、どうにもなりそうにないことどうにかしなければならぬので、チャレンジ精神が身につきました。イギリス、チェコ、インドネシア、ベトナム、韓国、日本と多くの留学生が同じコースにいるので様々な言語、文化と触れ合えています。

Q5 台湾に行ったら気づいた日本の良さは？

日本は、お店の人のマナー、サービスがやはり良いと思います。また、料理の見た目が良いですね(笑)。

Q6 これから留学を考えている人にメッセージを

海外に渡り、生活するだけでも最高の学びになります。それができる環境と機会がことばと文化学科にはあるので、ぜひトライしてください。

7. 高校生にも一言！

純大で留学生と出会い、留学を志し、実際に留学できました。何事にも挑戦する気持ちを持てるようになりました。世界を見る視野も広がりました。この素晴らしい環境で、ぜひ一緒に学びましょう。



ことばと文化学科2年
石原 悠希乃さん (静宜大学)



Q1 台湾への留学はいつごろ決めたか？

決めたのは出発の2~3か月前です。先輩たちの話を聞いて行きたいとはずっと思っていたのですが、なかなか決心がつかなかったのですが、友達の行く決意を聞いて、わたしもこのままじゃいけないと思い半ば勢いで決めました。

Q2 留学が決まってから準備したことは？

中国語の準備や、向こうに必要なものを先輩に聞いたりして準備しましたが、まだまだ全然足りませんでしたね。もっと勉強しておけばよかったと思います。

Q3 日本でやっていて向こうで役立ったことは？

着付けができる友達がいる、着物の着付けをしてあげたら、台湾の友達がすごく喜んでいました。

Q4 台湾に行ったら良かったことは？

授業だけでなく様々なことに関して積極的になりました。スペイン、オランダ、アメリカ、インドネシア、韓国、中国と多くの学生がいるため、様々な国の文化を知れました。韓国や中国などの隣国に対する印象も大きく変わりました。台湾は日本人にやさしい人が多いです。

Q5 台湾に行ったら気づいた日本の良さは？

交通マナーが台湾に比べてすごく良いと思いました。他の国に比べると老人や子供にやさしい環境だと感じます。それから、トイレや食べ物など衛生面の配慮が素晴らしいです。

Q6 これから留学を考えている人にメッセージを

私自身夢もなく漫然と日々を送っていましたが、留学で人生が変わりました。世界を知って自分の価値観が変わっていくのを肌で感じています。ぜひ、夢や目標がない人こそ留学を通して世界を感じて夢や目標を見つけてみてください。

7. 高校生にも一言！

純大はほかの大学に比べて規模は小さいけれど、だからこそ、留学のチャンスを得ることが出来ました。大きな大学なら私は留学できていなかったと思います。ぜひことばと文化学科に来て、留学を目指してみてください！



保育実技特講Ⅱ

講義や実習を通して、保育実技(①あそび ②園だより ③指導案作成、保育教材作成および実施)を向上させ、保育士・幼稚園教諭としての即戦力を養うことを目的に開講されています。

今回は、地域子育て支援センター「ばびいら」にて学生が選択・作成した教材を、実際の保育を通して実践しました。



実習の感想を
学生に
聞いてみました！



こども学科3年
井手田 愛実さん
実習副リーダー

こども学科3年
浜元 莉奈さん
実習リーダー

1. 今回の実習を通しての率直な感想は？

今まで、幼稚園や保育園などで計4回の実習をしてきましたが、今回は初めて母子での参加形式だったので、そこが一番勉強になりました。

とにかく活動前の準備が大変でした。今回は「夏野菜に親しもう！」をテーマに行ったのですが、その教材を作るのが一番大変でした。

2. 今回は実習でしたが、普段の授業では何を学んでいるのでしょうか？

この授業では、園だよりの作成や教材の作成演習など主に自分たちで考え、作業することが中心ですね。

先生方にはアドバイスをもらって、基本は自分たちで考える授業です。

4. 今回の反省点を挙げるとすれば？

履修している授業が様々だったので、全員で集まって話し合う機会が少なかったなと感じています。

浜元さんと重なるのですが、なかなか時間が作れなかったこともあって、役割分担にばらつきが出てしまったところが反省点です。

3. 今回の実習で今までの授業や経験が活かされましたか？

今回の実習の対象年齢が一年生の時に行った「こども講座」と対象年齢が一緒だったのでその経験が活かされました。

今までの実習の経験から、作成する教材の重さや大きさなど安全なものを考えて作ることが出来ました。

5. 夢は？

まだはっきりとはしていないというのが正直なところですが、資格を活かしてこどもと関わりたいような仕事がしたいです。

私は病院保育士になりたいと考えています。

必修科目「女性と日本文化」 装道と華道を通して日本文化を再認識しています。



ひとりで浴衣が着られるようになりました。生け花も体験します。(女性と日本文化・装道)

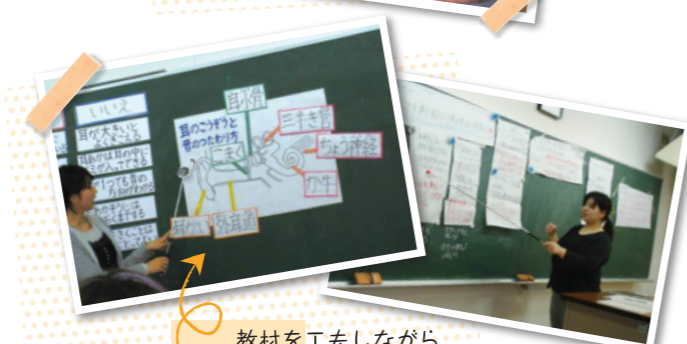


3つの選択コース
保健師・助産師・教職(養護・看護)

地域の皆さんの前で緊張しながら健康教育を実施させていただきました。(保健師選択)



助産実習に向けて分婯介助のトレーニングに励んでいます。(助産師選択)



教材を工夫しながら授業の練習をしています。(教職選択)

公衆衛生看護学「肝付町学外演習」

6月3日(金)・4日(土)の日程で、看護学科4年生の保健師領域選択学生18名が肝付町学外演習を実施しました。(公衆衛生看護管理論・地域組織協働論・地域保健診断・保健技術指導論の学外演習)

この演習で、過疎高齢化が進む中、様々な取組を行っている肝付町において、住民と協働した地域づくりや地域特性に応じた保健活動の展開を学びました。

3日は、肝付町姫門集落の家庭訪問や訪問後のワークショップ、夕方は地元企業・農業若手従業者との交流会を実施しました。4日はJAXAの見学、ロケット打ち上げ時の地元とJAXA職員との連携等について学び、午後からは住民の方々と共に健康講話を聴かせていただきました。高齢化は進んでいるが、住み慣れた地域で暮らす住民の方々の喜びや温かさ気付けた充実した二日間でした。



管理栄養士国家試験合格率93.8%を達成!

3月20日に実施された管理栄養士国家試験の結果が5月10日に発表されました。本学の受験生48名中45名が合格し、合格率93.8%という大変高い合格率となりました。(大学新卒者の全国平均85.1%)

高い合格率を支える取り組みとしてチューター制があります。学生それぞれに担当教員がつき、個別に指導を行います。学生1人1人のレベルに合わせた試験対策を行っています。



卒業生による国試体験発表会

3月の卒業生の中から国家試験合格者5名による体験発表を毎年行っております。今年は7月5日(火)に実施しました。

1~4年生全員がこれに参加することで、早い段階から国家試験合格への高い意識を持つきっかけとなっています。4年生も今年以上の結果を残してくれることを期待しています。



災害時など緊急事態を想定した炊き出し実習

5月9日(月)、4年生の応用調理学実習で「災害時の炊き出し実習」を薩摩川内市天辰町の四元さん宅で行いました。

東日本大震災をきっかけとして、管理栄養士を目指す学生が食の原点をみつめなおす機会になることを目的として実施しています。今年は熊本地震の直後に実施されたため、災害時などの緊急事態を具体的に想定しながら炊き出しを体験しました。



熊本地震への募金ボランティア



4月14日(木)に発生した熊本地震による被害にあわれた方々への支援として本学学生有志73名が、4月25日～29日と5月3日～6日までの9日間、学内や川内駅など薩摩川内市内の各所で行い、¥632,410の義援金が寄せられました。

市民の方々から寄せられた義援金に加え、大学同窓会からの義援金、昨年の大学学園祭収益金を合わせて贈呈しました。

薩摩川内市の皆様の募金活動へのご協力に心から感謝申し上げます。



薩摩川内市企業連携協議会との包括協定



7月4日(月)に薩摩川内市企業連携協議会と本学との間に地域社会の発展や人材育成のための包括的連携を締結しました。

調印式には、同協議会会長の田中博様に加え、立会人として岩切秀雄薩摩川内市長にもお越しいただきました。式では松下学長より「ふるさとの未来に貢献できる大学として、お互いの協力関係を築いていきたい」とあいさつがありました。

薩摩川内市企業連携協議会は市内の約140社が加入しており、大学としては地元企業へのインターンシップや商品開発への協力など、今まで以上に活発な交流を目指します。

交換留学生紹介～台湾から7名～

Welcome to Jundai

謝 雅勳さん (Hsieh, Ya-Hsun)

林 沁慧さん (Lin, Chin-Huei)

游 子曦さん (Yu, Tzu-Hsi)

李 佳思さん (Li, Jia-Si)

潘 虹伶さん (Pan, Hung-Ling)

吳 妮蕓さん (Wu, Ni-Chen)

林 亭婷さん (Lin, Ting-Yu)

岩木3姉妹へのインタビュー

新幹線開通により、熊本から通ってくる学生も珍しくなくなりました。しかし、姉妹三人が同時に大学・大学院に在籍し、毎日通学しているというのは今までありませんでした。今回はそんな岩木3姉妹にお話を聞いてみました。

Junshin Three Sisters



大学院1年 友里さん (ルーテル学院大学) こども学科2年 円花さん (湧心館高校) こども学科1年 奈々さん (八代百合学園高校)

Q1 本学を選んだきっかけは？ また決定した時期は？

友里さん: 大学院を探しており、熊大や福岡の大学などいろいろ調べましたが、レベル・内容で純大を選びました。

円花さん: 塾の先生に紹介をされ、キャンパスツアーなどにも参加して6月頃には受験を決めていました。

奈々さん: 姉が入学していたこと、高校の先生からも女子大で雰囲気が高校とも似ているので進学してはどうかと勧められたことから、純大への入学を決めました。

Q2 大学(大学院)の入学前のイメージは？

友里さん: きれいで広い大学だと思いました。

円花さん: まさにそういうイメージですね。

奈々さん: 私も。

Q3 イメージとの違いは？

友里さん: 特になくて、キャンパスツアーを通して感じた職員の親切な印象が、入ってから変わりませんでした。

円花さん: 入る前に感じたキャンパスの雰囲気の良い通りの環境でした。先生との距離が近いことが良い意味でイメージと違いました。

奈々さん: 私も姉たちと一緒にですね。

Q4 同じ大学を選んでよかったことは？

友里さん: 学費が安くなりました。*

奈々さん: 姉から話を聞いていたので大学の環境はわかりやすかったけど、友達に少ししかかわれるのが恥ずかしいですね(笑)

*学園の中高から大学院まで、3姉妹在籍のための減免制度。

Q5 夢は？

友里さん: 当然臨床心理士の資格を取って、児童相談所などで働くことです。

円花さん: 一年間の学習を通して小学校の先生を目指しています。

奈々さん: 今のところ認定こども園で働きたいと思っています。

Q6 高校生にアドバイスを

友里さん: 私は大学院から純大を選びましたが、学部で取れる資格の多いことは本当に魅力的だと感じています。

円花さん: 先生との距離感や教室、キャンパスの雰囲気すべてが、勉強できる環境を整えてくれているのでぜひ純大を目指してほしいと思います。

純短からの編入生に聞きました

A1 2年生の5月頃に先生から紹介があったことがきっかけです。7月にこどもと接するためにも多くを学ばなければならないという趣旨の授業をきいて、やはり進学しようと思いました。

A2 人がたくさんいて、賑やかなイメージでした。それから、友達ができるか不安でした。

A3 思っていたよりキャンパスがきれいでした。また、いろんな子が親切にしてくれて友達も出来ました。

A4 短大では高校の延長みたいな感じでいろんなことを全て集団でやっていましたが、大学では授業なども個人選択になり、自分がしっかりしていなければ、すぐにわからなくなってしまうと感じました。授業ははじめ使っている単語(学内施設の名称など)がわからない部分も多くありましたが、だんだんと慣れてきました。短大1、2年で取得していたものがほとんど大学の内容を含んでいるため、単位修得はそこまで大変そうではないと感じています。不足していて1、2年生と受ける授業も新しい刺激があって楽しいです。通学時間は短大時代の倍になりましたが、思いのほかしんどくなかったです。

A5 今は特別支援学校の教員を目指していますが、小学校教員にも興味が出てきたし、保育士や幼稚園も魅力的ですし、まだまだこれから学びを通して決めていきたいです!

A6 新しい環境に身を置くことが、人生においてとても大切な時間になることを今感じているので、ぜひ皆さんも純心大学で学んでみてはいかがでしょうか?



宮下 由衣さん (こども学科3年)

Q1 編入しようと思ったきっかけは？ また時期は？

Q3 イメージとの違いは？

Q5 夢は？

Q2 編入前の大学のイメージは？

Q4 短大・大学との違いは？授業・生活

Q6 編入を考えている方にメッセージを

A1 2年生の5月頃には決めていました。親戚の叔母が給食関連の仕事をしていて、これからは管理栄養士を持っていないと、どんどん就職が難しくなるという話を聞いて、資格取得のため目指そうと思いました。

A2 お嬢様なイメージがありました(笑)。あと、キャンパスが広い! 鹿児島市の家から遠いこともあり、知っている人がほとんどいないので不安でした。

A3 思っていたより、すぐに友達も出て、すんなり生活に慣れました。通学がもっとしんどいと思っていたけど、慣れたら、そうでもなかったです。

A4 基本的にはそんなに短大時代と差は感じません。ただ、短大に比べて、自分で決めなければならないことが多く良い意味で自由だと感じました。

A5 栄養教諭として働くことです。ただ、管理栄養士の試験に受かり、更に教員採用試験にも採用されることは並大抵のことではないので、まずはしっかり管理栄養士の資格を取りたいと思っています。

A6 純大が鹿児島で唯一管理栄養士の資格を取れる大学です。管理栄養士を目指しているのであれば、ぜひ選ぶべきではないかと思っています。



藤 千尋さん (健康栄養学科3年)

